



【刊日】日一十月九年五和昭

大平陸四郎氏

斷然出馬を聲明

湯本町石川徳壽氏に

出馬斷念方を交渉す

候補難を極めた郡南方部もので同氏も之を承諾したる
政友亦坂教一氏の出馬に次もの、如く同日午後に至り
いで民政よりは湯本の石川
徳壽氏立候補を聲明したが
湯本町では赤津周一、小松
草の

兩氏に

起意なきを
氏の出馬斷念を求めると
嘆じ同町將來のためにと
有志は十日午前十時町長
大平に公認を迫つても出馬
平陸四郎氏の出馬を促したる意向であるらしいと

高壓線を切斷する

大仕掛な銅線泥棒

前科三犯の常習犯捕はる

當時住所不定無職茨城縣東
茨城郡磯原町元一丁目三二
〇窃盜前科三犯小沼藤吉(四
三)同相馬郡新館村下島山野
邊一五一松田好美(三三)の兩
名は共謀して七日午後十時
頃内郷村織地内城炭礦專
用二百五十ボルトの高壓線
二百五十尺並に電話線七十
尺計九貫目を切斷し古物屋
に賣却して着服費消したる
こと平署で探知昨十日検
されたが餘罪ある見込で自
ら嚴重取調中である

土木委員會

平町十

本委員會は十四日午前十時
から役場會議室に開會左の
諸案につき協議する
一、遊廊内町道に街路樹
追認に關する件
一、杉平地内道路改修工

深夜の新川端で

人妻強姦未遂

通行人に救はれて

危ふく虎口を逃る

内郷村大字御所字小島伊藤
某の妻(〇)特に名を秘すが
今晩一時ごろ平町字長橋町
地内吉村製綿工場側道路を
進行中突然背後より労働者
風の怪漢が
飛か、り傍の叢に
引倒して暴行を加へんとし
たので女が極力抵抗しつゝ
悲鳴を擧げて救ひを求めた
ら、め通行人が悲鳴をきき、村
へ駆けつけたので女は危
く虎口を脱したが件の怪漢
は目的を達せず矢庭に逃走
せんとする所を引捕へ平署
へ

清酒蔵出高

減る一方

平稅務署管内
酒屋さん嘆く
平稅務署管内に於ける去月
中の清酒並に焼酎蔵出高を
前年同期に比較對照すると
種別 本年 昨年
清酒七七七石 八八五石
焼酎 六九石 八九石
となり差引清酒一〇八石増
耐は二〇石の減となるが前
年十月の酒造期より去
居住大工野木方藏(〇)と判
月未までの清酒蔵出高の累
計を示せば

種別 本年 昨年
新酒 三三三石 三三三石の減といふから酒屋さんも
古酒 三三三 四八八この不況ぶりにには全く上つ
で新酒は一八〇九石、古酒たりである

酒癖の悪い六十亭主が

逃がれた妻を返せと暴れる

近隣の者が見兼ねて説諭願

飯野村字中山農渡遊重太郎
部長、坂本組頭の調停も
(〇)は性來酒癖が悪く泥酔
すると必らず暴行するとい
ふ厄介者なので妻が(五)ら
は居堪らなくなり三人の子
供を置き去りにして此程同
村居住の實兄志賀傳五郎の
許へ逃げ出してつたところ
重太郎は之に憤慨して再
三妻の歸宅を迫り今十一日
も根棒など持ち出して志賀
方に暴れ込んだので之を見
兼ねた志賀の近隣の者から
けふ平署へ説諭願

植田花柳争議

更に悪化

調停成らず

植田(通信)植田町料理屋
と妓屋争議は益々悪化し聞
り平署へ説諭願
不拂は 餘りに藝妓
屋側を苦しめる戦術で現在
料理屋二十六軒のうち十八
軒は五代不拂のため箱止め
となつてゐる有様で餘りに
利己的に過ぎると一般町
有志者は非は料理屋側にあ
て密に觸れた初夜の言葉

町村自治

と

森林經營

H A 生

町村基本財産としての森
林經營に有形無形の甚大な
利益効用のあることは前
項までに述べた所であるが
町村林は更に社会的觀念よ
り其の必要を認めることが
出来る、即ち今日の經濟上
の大勢は資産者が益々資産
を増大するに反して其他の
ものは益々自己の所有を失
ひ中産階級が漸減して大地
なるものに併吞せられる一
部少數者に集中せられるこ
の經濟力の獨占から来る
町村の統一に於て又は統一
の森林經營に當つて意の如
く成績を見る能はざる辛
苦の多い然しながら部民
の通俗的に述べて見やう

六十錢を窃取

十八少年のさや

かな盗み

飯野村上荒川元自動車連
助手島田恭茂(〇)假名は一
昨九日午後十二時ごろ平町
研町二七庄子某方に忍び入
り現金六十錢を窃取したる
こと發覺十一日平署に檢舉
された

少年泥棒

現金八圓を窃取

上遠野村大字上瀧無職職
政夫(七)假名は十日午後九
時ごろ湯本町某方は方の留
守宅に忍び入りタンスの抽
出から現金八圓のガマ口
を窃取し平署に檢舉され取
調中

憎ま

れ口

告白と云ふ

のには語るこ
とに嘘がな
偽はらざる
はらざる
のには語るこ
とに嘘がな
偽はらざる
はらざる

社告

植田支局設置

植田町

主任 鈴木林

新しいわき新聞社

植田支局設置(植田町
電話五五
主任 鈴木林
新しいわき新聞社

醫藥分業せば どうなる (二)

福岡縣師會

尙ほ又醫師の投票は疾病治療の目的であつて治療行為の一部であり、醫師が醫師の處方箋によつて調劑するは、治療目的の性質は含んで居らず、唯調劑を販賣して其の料金を得るの目的であり、故に純然たる商業行為であります。

獨逸強分業とは 我國の法規は獨逸式強分業とは英米風化意分業を加算した折衷主義的法律であり、まして現獨逸の如きは入院患者ですら經濟的に獨立した病院外の藥局より藥を取り寄せて服藥しなければならぬ不便があるのです。而も醫藥分業になつたとしても注射の如きは醫師自ら藥品を溶解し自ら調劑注射するのであります。其の他診療的技術は皆醫師の本職として行はるのであります。之に之れに河し遙かに危険少なき服藥を醫師が出來ぬと云ふ矛盾が生ずるのであります。

それに一般民衆は英米風の任意分業(我國とは大略同じです)の存在を餘り驚くしらずに歐米先進國凡て醫師の調劑投藥を禁止せりと誤解し悉く其の別害を極めず専ら大思想に捕へられて醫藥強分業を禮讃し分業請願運動に附加雷同するものが少なくなかつた想であります。

スペイン G.H.N元 詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二)西村屋藥舖 (電三)

看護婦出
平町一丁目
磐城看護婦會
電話三五七番

秋の帽子の子

は意用御の

ヤルツ

型と色、實堅の向衆大

○四一電四平

安流丸

諸毒下しの天妙藥

持約山野邊藥局

病體改造

カイソネーチャ療法の出現

海草蒸熱療法なるが故に従來の物理療法と異り各種病態に効あるは既に定評があります。論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ。

特許中山式 (平町大町電話三七七番)
カイソネーチャ磐城分院
吉田五平

突煙る水く強 程す四に長雨

朝日

の倉庫商店

内科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科 高久病院
レントゲン科 院長醫學士高久忠

親切と迅速とをモットーする

大野寫眞館

平町仲田町

教育 改革 概論 四六版三三頁 定税五十錢 郵税六錢

發行所 東京市丸の内昭和ビル 日本評論社
取次所 内郷村 内郷村報社

矢野恒太序 大内民惠著
服部宇之吉

寫眞の御用命は當館へ……

服んで良くさく (絶対に胃腸を害さぬ)

淋病と 特効藥 濟淋

消渴の

本舖 責任製劑 水野藥局
平町一丁目
振替貯金口座 福縣八八七六

清々しい 食堂裝飾

の日本間の新設備

平公園のカフェエー松ケ岡

一度お出で下されば皆様に御満足のお親みをキツト頂け様と思ひます

ササのよい女給も揃へました

御調理もおいしくお安く致します

院病濟共

始開療診費輕

郡内廿四ヶ町村の囑託により 六月一日より輕費診療を開始

診療科目 皮膚科、産婦人科、物理療法科、耳鼻咽喉科、X線科

診察料 輕費診療 五十錢
本會員 無料

藥價(一日分) 輕費診療 十五錢
本會員 無料

入院料(一日) 輕費診療 一圓以上
本會員 無料

院長 醫學士 石山鎌郎
本院主管 賀澤忠治

磐城共濟會(電話六四一番)

晴々しい奇麗なお座席で お味美い御料理を

新裝の食堂設 召上りませ

備をどうぞ一度ご覧下さい

平町新道通り 藤彦食堂
電話二九四番